

製品名: GALR1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11282**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	GALR1
別名	GALR1; GALNR; GALNR1; Galanin receptor type 1; GAL1-R; GALR-1
遺伝子 ID	2587.0
SwissProt ID	P47211
免疫原	抗血清はヒト GALR1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

背景

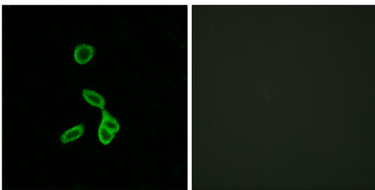
神経ペプチドであるガラニン、特定の G タンパク質共役受容体との相互作用により、様々な生物学的効果を誘発します。ガラニン受容体は 7 回膜貫通型タンパク質であり、様々な細胞内セカンドメッセンジャー経路を活性化することが示されています。GALR1

は、Gi/GoファミリーのGタンパク質を介してアデニル酸シクラーゼを阻害します。GALR1は、脳や脊髄だけでなく、小腸や心臓などの末梢部位にも広く発現しています。[RefSeq提供、2008年7月],機能: ホルモンであるガラニンの受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼ活性を阻害するGタンパク質によって媒介されます。、PTM: C末端に存在する3つのシステイン残基のうち少なくとも1つがパルミトイル化されています。、類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。、

研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

画像データ



GALR1抗体を用いたLOVO細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。